

長久手市教育振興基本計画策定に係る市民アンケート結果

調査対象

児童生徒：長久手市市立小学5年生児童及び中学2年生生徒生徒

保護者：長久手市市立小学5年生児童及び中学2年生生徒生徒の保護者

18歳以上の市民：市内在住の18歳以上の市民 3,000人

	配布数	有効回答数	有効回答率
児童・生徒	1,219通	1,158通	95.0%
保護者	1,219通	666通	54.6%
18歳以上の市民	3,000通	992通	33.1%

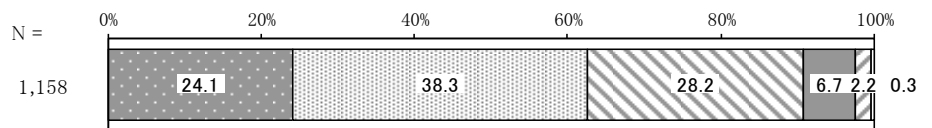
主なアンケート結果

小中学校児童生徒対象

① あなたは長久手市に住み続けたいと思いますか。（当てはまる1つに○）

「できれば住み続けたい」の割合が38.3%と最も高く、次いで「一度市外に出て、また長久手市に戻ってきたい」の割合が28.2%、「ずっと住み続けたい」の割合が24.1%となっています。

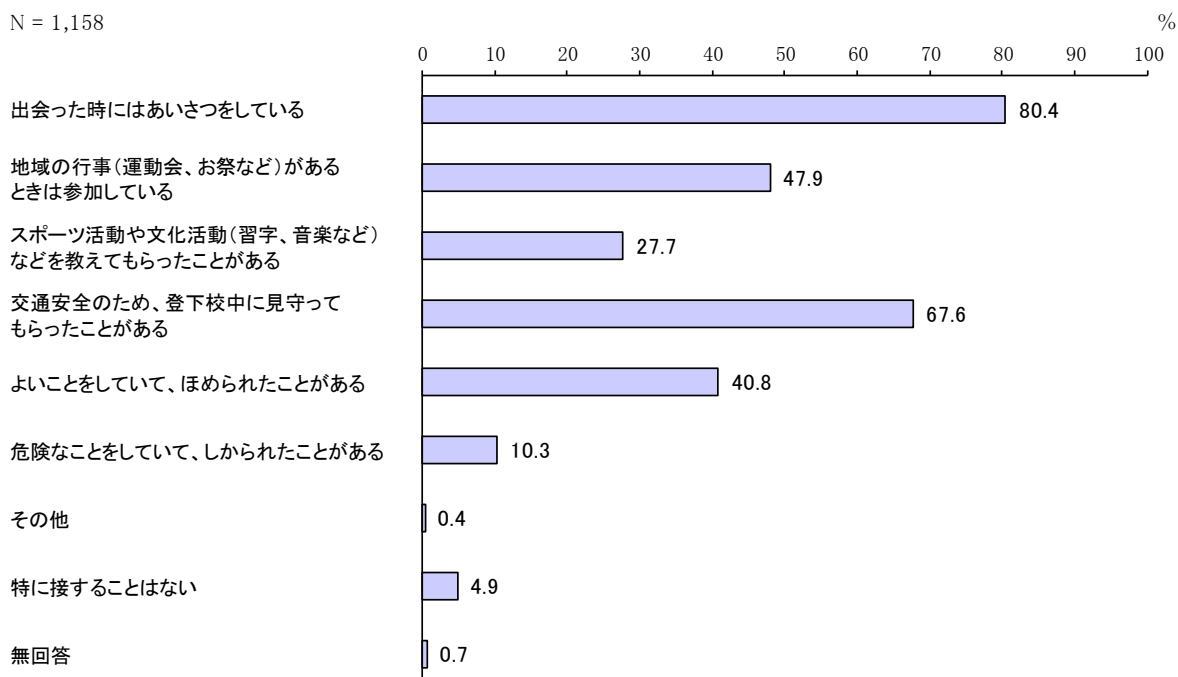
- ずっと住み続けたい
- できれば住み続けたい
- 一度市外に出て、また長久手市に戻ってきたい
- できれば住み続けたくない
- 住み続けたくない
- 無回答



② あなたは地域の大人とどのように接していますか。（当てはまるすべてに○）

「出会った時にはあいさつをしている」の割合が80.4%と最も高く、次いで「交通安全のため、登下校中に見守ってもらったことがある」の割合が67.6%、「地域の行事（運動会、お祭など）があるときは参加している」の割合が47.9%となっています。

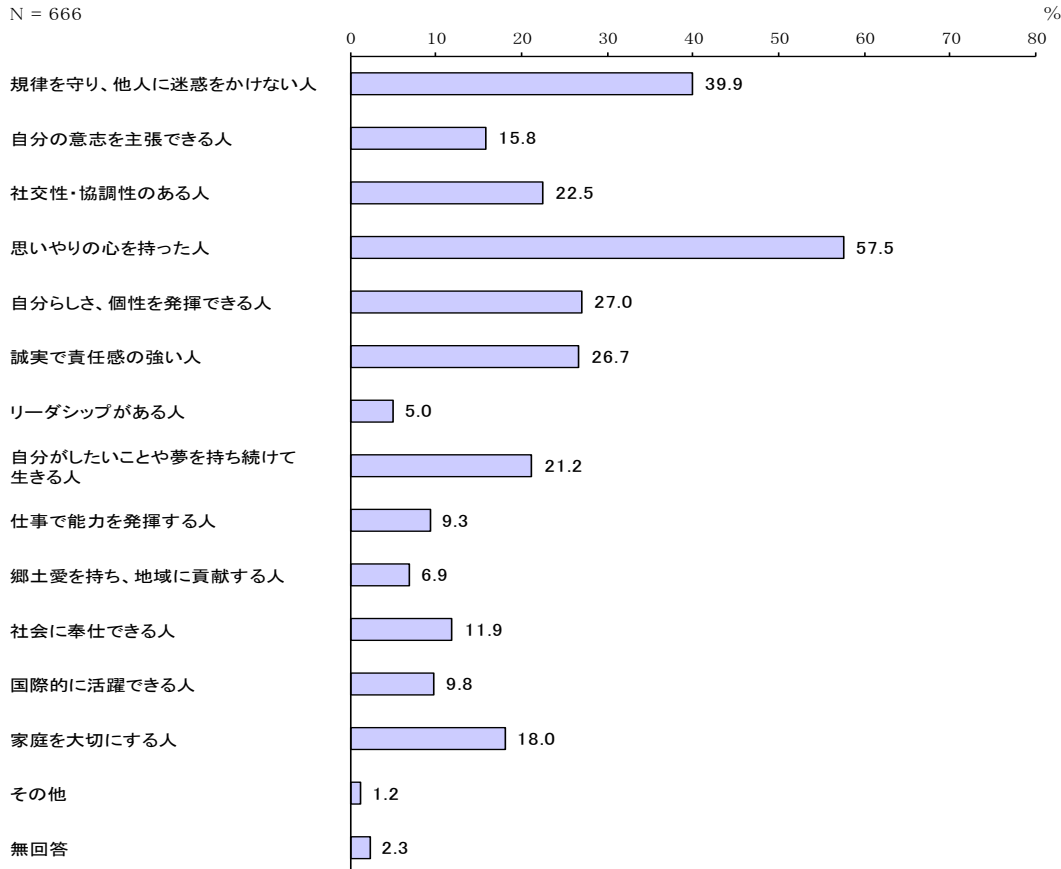
N = 1,158



小中学校児童生徒の保護者対象

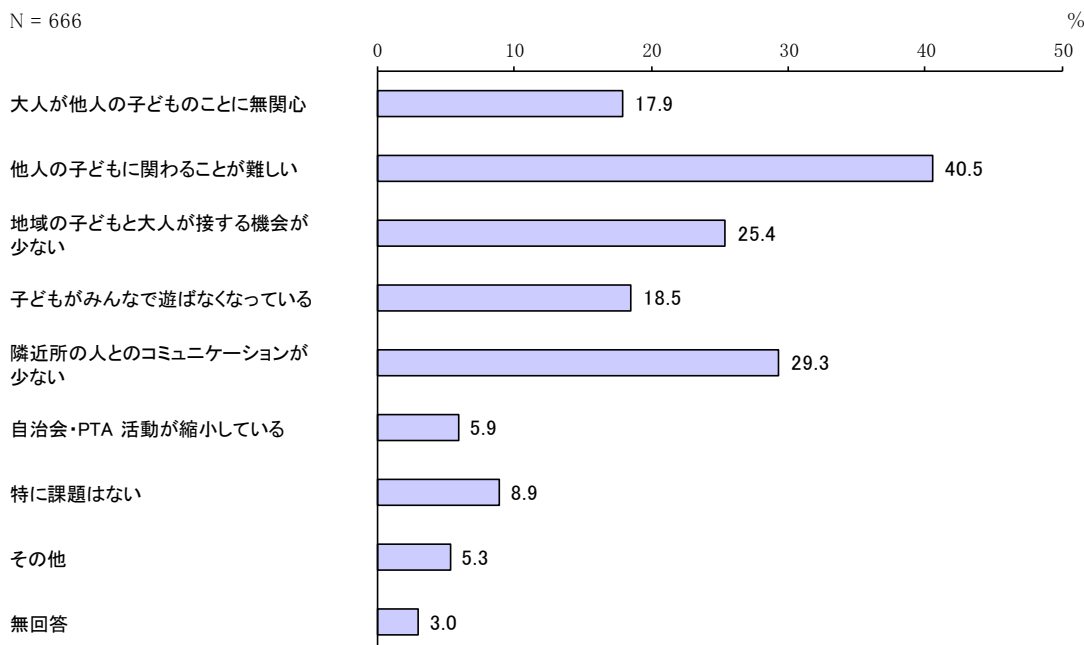
③ あなたは長久手市の子どもたちが将来どのような人に成長してほしいと考えますか。(特に該当すると思う選択肢に3つまで○)

「思いやりの心を持った人」の割合が 57.5%と最も高く、次いで「規律を守り、他人に迷惑をかけない人」の割合が 39.9%、「自分らしさ、個性を発揮できる人」の割合が 27.0%となっています。



④ 地域全体で子どもたちの成長を育む上で、長久手市の現状としてどのようなことが課題と思いますか。(特に該当すると思う選択肢に2つまで○)

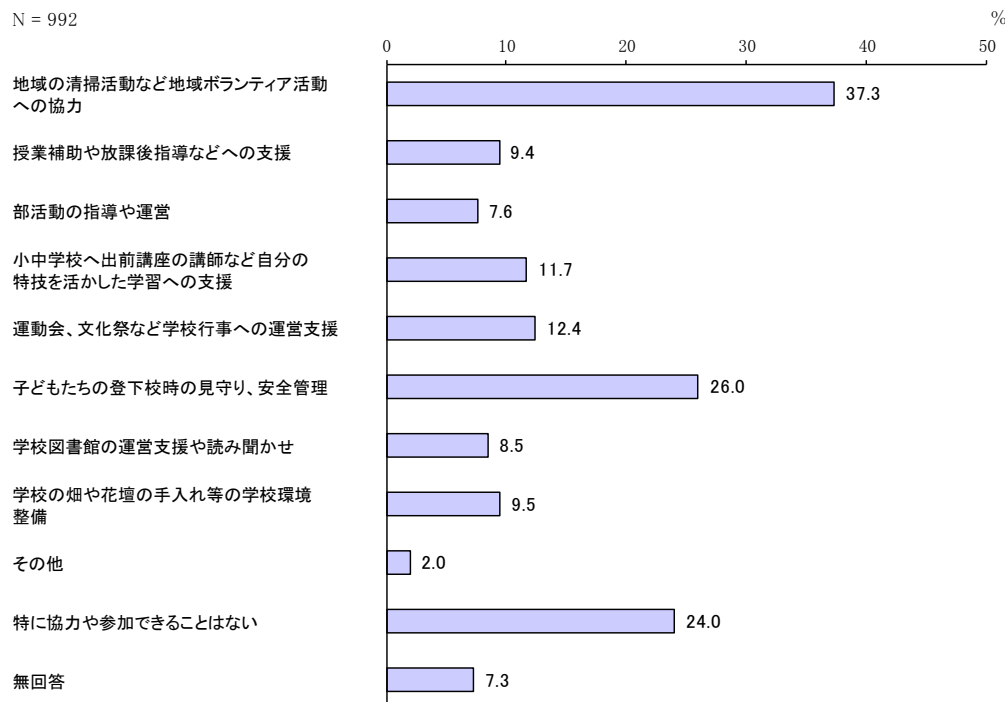
「他人の子どもに関わることが難しい」の割合が 40.5%と最も高く、次いで「隣近所の人とのコミュニケーションが少ない」の割合が 29.3%、「地域の子どもと大人が接する機会が少ない」の割合が 25.4%となっています。



1 8歳以上の市民対象

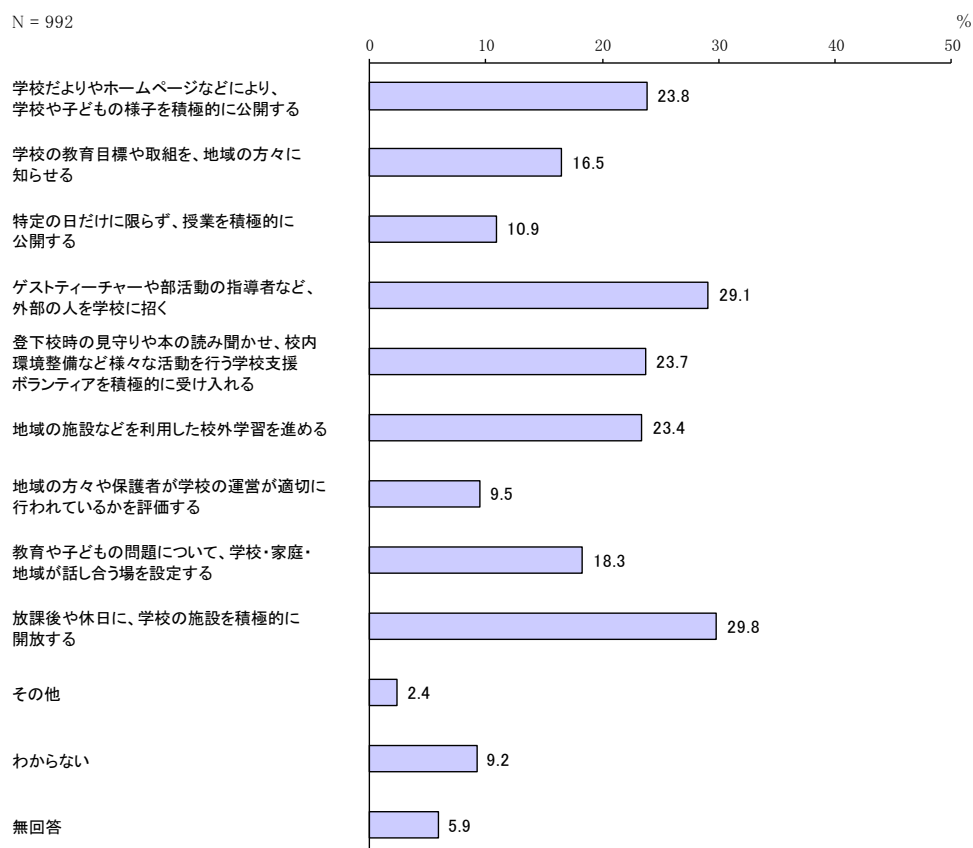
⑤ 次の取組の中であなたが、地域の小中学校と協力したり、参加したりしてもよいと思われるものはありますか（該当する選択肢すべてに○）

「地域の清掃活動など地域ボランティア活動への協力」の割合が 37.3%と最も高く、次いで「子どもたちの登下校時の見守り、安全管理」の割合が 26.0%、「特に協力や参加できることはない」の割合が 24.0%となっています。



⑥ 地域に開かれた学校にするために、何が大切だと思いますか。（○は3つまで）

「放課後や休日に、学校の施設を積極的に開放する」の割合が 29.8%と最も高く、次いで「ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く」の割合が 29.1%、「学校だよりやホームページなどにより、学校や子どもの様子を積極的に公開する」の割合が 23.8%となっています。



⑦ 市民の生涯学習を活発にするためには、どのような取組が有効だと考えますか（特に該当すると思う選択肢に3つまで○）

「活動について体験できる機会を拡充する」の割合が44.3%と最も高く、次いで「活動に関する教室や講座などの事業を拡充する」の割合が34.4%、「インターネットなどを使って活動の情報を得やすくする」の割合が28.5%となっています。

N = 992

